



116号
 仏歴2557 (2013・平成25) 年
 7月7日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL 0823 (21) 2798
 FAX 0823 (21) 2795
 www.saikyoji.net
 郵便振替番号
 01340-3-29117
 宗教法人西教寺

道は確かにある



光現寺ご住職と参加者。

去る六月十四日(日)、壮

年会主催「島根の妙好人を

訪ねる日帰りバスの旅」参加

三十九名で、妙好人浅原才市

さんと有福の善太郎さんのご

旧蹟にお参りしてきました。

台風が接近していて心配

しましたが、右へ急旋回、熱

帯低気圧となつて消滅しまし

た。前日十三日は打つて変わ

つて三十四度の猛暑。今度は

熱中症の心配でオロオロ。

明けてみると当日は曇り。

現地は涼しく、いたつて快適

でした。お参りをすませてお

土産を買い、帰るバスに乗り

込んだと思つたら
 雨が降り始めまし
 た。その雨もお寺に
 着く頃には上がり、
 万事順調に帰宅でき
 ました。帰りのバスでは「よ
 かつたですねえ、誰の行いが
 良いのでしょうか」と冗談を
 言いながら喜んだことです。

妙好人

「妙好人」の「妙好」と
 は、「妙好華」白蓮華のこと
 です。沼地(ドロドロしたこ
 の世)に真つ白な花を咲かせ
 たような人ということで、念
 仏を深く生きた人を讃えた言
 葉です。他宗はエライお坊さ
 んが出ましたが、在家仏教の
 浄土真宗は、エライ信者をた
 くさん生みだしました。妙好
 人を世界に紹介した禅学者鈴木
 本大拙は、妙好人の社会性
 における限界を指摘しつつも、

その深い宗教性に無分別智
 (おさと)を認め、高く評
 価しています。

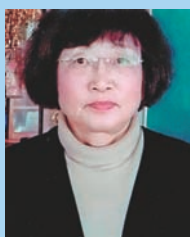
ヒマ人の道楽

お寺の法話ではあまり聞き
 ませんが、実は才市さんと善
 太郎さんの人生は、艱難辛苦
 の連続でした。才市さんは、
 十一才の時両親が離婚、母の
 実家に戻った才市さんは船大
 工の年季奉公に出され、母は
 まもなく再婚しました。お父
 さんは出家して西教と名のつ
 ていましたが、今回お参りし
 た安楽寺さんによると、ふら
 ふらしていてほとんど稼ぎが
 なく、家族は海辺の魚小屋で
 寝起きしていたそうで、それ
 が離婚の原因ではないかとい
 うことでした。才市さんの詩
 に、「ゆうもゆわんもなくお
 やが死ねばよいとおもいまし
 た(略)」とあります。才市

新世話人



三津田支坊地区で面
 川千代子さんの受け持ち
 地区を、川島照子さんも
 お手伝い下さることにな
 りました。川島さん、ど
 うぞよろしく願いまし
 ます。



川島照子さん

少年はどんなにか苦しんだこ
 とでしょう。娘は三度離婚
 孫は二ヶ月と三ヶ月で次々と
 亡くなっています。
 一方、善太郎さんは、五才
 で母と死別、寂しかったので
 しょう、若い頃は「毛虫の悪

太郎」と言われ、荒んだ日々を送っていました。結婚して四人の子どもを授かりますが、サト、ルイは三才、ノブ、そめは三才で亡くなり、愛娘を次々と失いました。どんなにか辛かったことでしょう。

ヒマ人が道楽で寺に参るのだと思っている人もいるみたいですが、今も昔もそんな人はいません。

真剣な求道

そんな中、二人は懸命に仏法を求めました。善太郎さんのお寺（光現寺）には、善太郎さんが書写した善導大師の『歸三宝偈』や、法然聖人の『一枚起請文』、『無量寿經』四十八願文などが展示してありました。考えてみると当たり前ですが、真剣に求めると「法座でお聴聞して終わり」にはならないんですね。

善太郎さんの書写



また、才市さんは、聞けど学べど如来のお心が腑に落ちませんでした。真剣に求めるが故のことでしょう、才市さんは痛癢をおこし「もう如来さんとは縁切りだ」と言っています。仏壇に釘を打ち付けたといいます。公開されている才市さんの家にお仏壇があります。



仏壇の釘の跡

した。早速穴を撮ろうとカメラを構えると、正座して合掌している人がいました（恥）。

道は確かにある

話を元に戻して、このような真摯な求道を経て、お二人は信心を開発し、苦悩の人生を超えてゆく眼を開くことができました。家にお仏壇もなく、お寺の法座に参るなんて思いもしない現代、絶望する人が後を絶ちませんが、道は確かにあるのです。

ダメ住職

旅行の翌日、本願寺会館で連研（連続研修会）がありました。連研は話し合い形式の研修会で、六月のテーマは「私だけが幸せでよいのでしょうか。」サブテーマは「大きな災害や事故が起こるたびに、私の身近でなくてよかったと

思っていました。」でした。私はふと、旅行から帰ってきた日の晩、「島根は夕方から大雨で大変だったらしいよ」と誓子（新坊守）が言っていたのを思い出しました。私は

その時「帰ってきたんだからもういいんだ」と思ったのですが、自分（たち）のことだけ考えて「よかったよかった」と喜んで帰った念仏者って何だろう、その時ようやく気づきました。どうしてあの帰りのバスでひと言、「天候に恵まれてよかったですねえ、でも自分たちの都合だけ考えて喜ぶのってちよつと浅ましいですね」ぐらい言えなかったのか。ああ、深みも社会性もないダメ住職です。

（岩崎智寧・新住職）



金婚式で参拝

昨年（2012年）十月七日、吉中恒雄さんと美智子さんが金婚式の記念にお参り下さいました。

吉中さんご夫妻は、五十年前のまさにこの日、蔵本通支坊本堂で挙式されました。残念ながら当時の本堂はもうありませんが、式の写真を拝見すると、その時お焼香に使用した象の香炉がまだお寺に残っていて（写真右奥）、五十年ぶりに同じ香炉でお焼香してもらいました。吉中さんは「入院したり色々ありましたが、どうにか五十年を迎えることができました」と感慨深げでした。皆さんも縁が整えばどうぞお参り下さい。



報恩講つとまる

通り報恩講

真宗で最重要行事の報恩講、まずは十月一日よりご門徒各戸でつとまりました。多忙な時代、お寺のお願いする日時に都合のつかない方も増えましたが、時間や日を変更してつとめる「別修」として、ほとんどの方が大切におつとめになりました。

お取り越し報恩講

ご門徒各戸でつとめた後はお寺でつとめるお取り越し報恩講。三津田支坊のご講師は山口県の波佐間正己先生。テーマは「阿弥陀さまの願い」。体調を崩されたと聞き心配していましたが、順調に回復され、入院を機に出版された『甦りノート』と共に、味わい深いお話をたまわりました。ご満座は御示談（質疑応答）。お人柄でしょうか、皆さんリラックスして色々な質問をされていました。

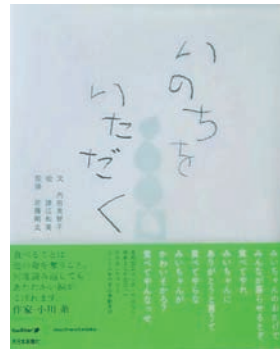


御示談の様子

次に、蔵本通支坊は、佐賀県から片江哲海先生におこしいただき「今、立つているところ」というテーマでお話いただきました。先生は「うん、そうね」「だいたいようぶだいじようぶ」、私たちが忘れてしまいがちな大切な言葉を、ご自身が倒れて入院した時の体験からお話下さいました。また、実話を本にした『いのちをいただく』をご紹介下さいました。生きるために大切な牛のみいちゃんとお別れをする女の子、食肉加工センターで



お斎（とき）の様子。美味しいと評判の「精進うどん」といなり寿司。お寺で食べるともなく作業所「かしの木」製クッキーがもらえます。



『いのちをいただく』
西日本新聞社。

はたらく坂本さんの苦悩。毎日いただく「いのち」はもとより、手元にとどくまでの多くの方々の大変な思いやご苦労があることを教えてもらいました。



壮年会の斉藤佳康さんと長岡良高さん。トラックは斉藤幸夫さん提供。



売店の皆さん。

報恩講をお迎える準備は大変です。婦人会の皆さんを中心に、境内や本堂の清掃、仏具のおみがき、仏花やお供え等々、ひとつひとつ念入りに行います。昨今は壮年会の方も一年を通じて境内の剪定等

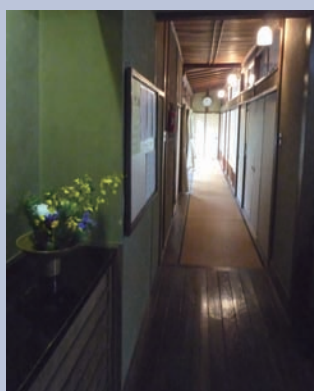


お斎（とき）ご報謝スタッフの皆さん

して下さるようになり、本当にありがたいことです。
お斎（精進うどんとき）
いなり寿司）千人分
や売店も、当日まで
念入りに準備されま
す。ご門徒の思いが
結集したご法座です。

小田原倅江さん特製精進
ケーキ「豆腐のパンナコッ
タココア風味」。出勤法中
六ヶ寺に出されました。

親しんだご本尊さまともお別れ。



レトロな照明が素敵な畳敷きの廊下。

呉仏教婦女会館 老朽化でお別れ

呉仏教婦女会館は、戦後まもなく
建築された瀟洒（しょうしゃ）で
上品な和風建築。残念ながら老
朽化のため取り壊すことになり
十二月二日の報恩講をもって閉鎖
されました。以後の行事は、隣接
する本願寺会館で行われています。



配布された写真左上の紙。濃い色と薄い色の八角形
があるように見えますが、実は全部同じ色。黒板には
体長の違う二匹のネコの絵がはり付けてありますが、
実はこれも同じ長さ。人間の目は当てになりませんね。

お取り越しの最後、長ノ
木本坊ご講師は、八王子市
の松本智量先生。「問い」と
しての「呼び声」と題し、
七高僧のお話を七席に配当し
てお話し下さいました。
先生は、演題の下から大
事そうに銀の玉を取り出し、
ゆつくりと手を放されまし
た。すると、玉は落ちずに宙
に浮いたまま（驚）。それは
実は銀の玉ではなく料理道具
の「おたま杓子」で、宙に浮
いたと思ったのも錯覚。私たち

普段いかに思い込みで物を見たり
聞いたりしているかということ



長ノ木本坊お斎（とき）スタッフの皆さん

す。この他も先生は、死刑問題等、
色々なことについて分かりやすく、
深くお聞かせくださいました。
今年は雨で、お斎（仏教徒の食
事のこ）の準備も大変でしたが、
事前にテントを張って無事準備が
できました。また、ご満座以外は
年々お参りされる方が減ってきて
いて、七席の法座をどうするか皆



昔ながらのお斎（とき・精進料理）

さんにご相談したところ、準備等多用でお疲れのところ、たくさんの方がお参り下さいました。



雨の中お斎（とき）の準備。



長ノ木本坊売店の皆さん。



「衰退する仏教・再生する仏教ー原発事故から問われる人類の課題ー」
信楽峻磨先生と上田紀行先生の対談。満堂の人でした。
(2012年12月2日 於広島別院共命ホール)

第六回甘露の会公開講座

安芸南組報恩講仏の子の集い

十二月二十五日、蔵本通支坊で

恒例の安芸南組（近隣六〇ヶ寺）

報恩講仏の子の集いが行われました。参加約八十名。

おつとめ・ご法話の後はゲーム。午後からは青空金管合奏団の皆さんによるクラシックや楽しいアニメソングの演奏、恩徳讀もありました。楽器体験コーナーもあつ

て、長岡智月（日曜学校生徒）さんもトランペットに挑戦、みごとに音が出ました（拍手）。

最後にお楽しみ、恒例のビンゴゲームをして帰りました。



トランペットに挑戦する長岡智月さん



折り紙の先生、山崎敏子さんが、子どもに折り紙のプレゼント。毎年ありがとうございます！



青空金管合奏団の皆さん



蔵本通支坊の様子。徐々に外が明るくなる。若い人も多い。

修正会



たくさんの参詣者。(長ノ木本坊)

除夜の鐘

御正當報恩講

年が明け二〇二三(平成25)年、一月十六日は七五一回目の「御正當(親鸞聖人の祥月命日)」でした。この辺では「おたんや」の名で親しまれていて、ご本山にお参りできない人のために「ご正當」もつとまります。

三津田支坊では広幡康祐先生が「仏教に聞く、今をどう生きるか?」というテーマで法話。お善哉のお接待もありました。

長ノ木本坊はご講師をたのまない自勤法座 恒例の御示談(仏法・人生相談)や『御絵伝(親



1月15日の夜、大速夜は残口ウでお寺をライトアップ。『御伝鈔』拝読と白味噌仕立てのお雑煮のお接待がありました。

鸞聖人の伝記絵巻物』の絵解き、今年は特に新屋まりライブ「平安なれ幸いなれ」も行われました。昨年はNHK大河ドラマ「平清盛」ブームでした。が、新屋さんは平家をテーマにした曲を披露、透き通った声が本堂に響きわたりました。曲の合間には、法然聖人門下で平家と関係の深い勢観房源智の話も登場。ライブ終了後、新住職(智寧)もオマケで平家と



新屋まりさん

関係の深い念仏者熊谷直実と勢観房源智についてお話ししました。

熊谷直実は清盛と同時代の武将。後、親鸞聖人や勢観房源智と同じ法然聖人のお弟子(法力房蓮生)となるのですが、『平家物語』では、一ノ谷

の戦いで自分の息子ぐらいの年齢の平敦盛(清盛の甥)を討ち取ったことが出家の動機とされています。熊谷直実に宛てた法然聖人の直筆のお手紙には、「有縁の衆生をとぶらはんがため」急いで念仏以外の行で仏となろうとする直実に、「まづ必ず本願の念仏をつとめ」るよう諭されていて、直実の苦悩や、それに応答する法然聖人の真剣さが伝わってきます。また、勢

観房源智は平清盛の長男重盛の孫。平家の滅亡とともに出家しました。二人とも、親鸞聖人同様、時代の波に翻弄されながらお念仏に出遇われた方でした。最後、蔵本通支坊のご講師は竹田嘉門先生。テーマは「生きていたら色々あるさ」。『御絵伝』の絵解きや甘酒のお接待もありました。昨年十月一日から今年一月末までの四ヶ月、報恩講・お念仏三昧の日々でした。

安雲南組総講習会
駒沢勝先生「医と私と親鸞」二〇一三年二月二〇日
於クレイトンベイホテル

本片山家仏式起工式



去る三月五日、本片山憲治さん保子さんの仏式起工式が行われました。

浄土真宗の起工式は天の神・地の神に安全をお願いする式ではありません。念仏のご縁をいただくことは、仏さまの智慧をたまわること、恐れや不安に屈服するのではなく超えてゆく人生、無碍の一道が開かれるのです。するのは簡単。業者にその旨を伝えお寺に電話すればOK。みなさんいかがですか。

お寺の子ども会 日曜学校卒業式

去る三月十日、お寺の子ども会（進徳日曜学校）卒業式が行われ、岩崎遊さんと湯村施南さんが卒業しました。よく心のスイッチを学び、強くやさしい仏の子になりました。



初参式・入園入学奉告式

去る三月二十日、春休みの最後の日曜日、恒例の初参式と入園入学奉告式が行われました。今年はあるがたいことにたくさんの方がお参り下さいました。親が子を助けられるのは途中まで。独りぼっちの人生を支え導いて下さる仏さま（親さま）がいらつしやることを、合掌とともに伝えませんか。

【初参式】		【入園奉告式】	
厚井	愛沙日	酒井	星空
厚井	いろは	入学奉告式	
酒井	蒼	犬童	夏希
坂口	優菜	小泉	結生
坂口	梨々菜	坂田	健太
佐藤	鞠乃	田中	希愛
佐藤	小町	町田	愛実
下野	夏	湯村	恵
空井	由依	【中学入学】	
千田	伶太	岩崎	遊
山手	温太	湯村	施南



式後は、シャンピーボールンチーム広島の皆さんによるバルーンアートショーで楽しく過ごしました。



第47回初参式・第17回入園・入学奉告式。



公開体験講座の様子。

**真宗カウンセリング
フォーカシングワークショップ**

去る四月二日〜四日、土江正司（つちえしやうじ）先生（臨床心理士）を講師に、真宗カウンセリング・フォーカシングワークショップが開かれました。カウンセリングは言葉を正確に聞いてゆくのですが、フォーカシングは言葉になる以前の身体を感じ（フェルトセンス）を大事にするアプローチです。まずは広島別院で公開体験講座。その後神田山荘に場所を移して二泊三日のフォーカシングサンガを体験しました。

蔵本通支坊で 合同花まつり with 隣人祭



隣人祭さんのお店。



元中唯優ちゃんお父さんとお参り。

四月八日は花まつり（お釈迦さまのご誕生日）。去る四月十四日（日）、蔵本通支坊で恒例の合同花まつりを行いました。

山崎家製花まつり弁当。包み紙の裏にはひと言法話。お寺に参れない人もご縁を結べるよう企画。



今年は嬉しいことに、子ども八十名の参加で、にぎやかな花まつりとなりました。おつとめの後、竹田嘉円（みよ）（明圓寺）さんのご法話。絵本『ハグくまさん』をスクリーンに映し出して読み聞かせ。目には目をではなく、いつもハグ（抱きしめること）を。

ご法話の後、ポップコーン、わた菓子、スーパーストリック、ストラックアウト、バットゴルフなどの出店でお楽しみ。さらに昨年からこいつしよしている「隣人祭」さんのお店では、品物だけでなく、美味しいスープやみかんゼリー、茶そばなどふるまわれしました。子供らは美味しく楽しく過ごしました。

三津田支坊花まつり

みつだしぼう
三津田支坊花まつりは、ご門徒主催。四月六日（土）に行われ、子ども五十名、大人八十名と、たくさんお参りされました。お世話された尾木さんによると、二河川より西側で花まつりは珍しいらしく、口コミで年々お参りが増え、今年は忙しくて写真が撮れなかったそうです。



宗祖親鸞聖人降誕会

降誕会とは、親鸞聖人のお誕生日（五月二十一日）のこと。三ヶ所の西教寺では、いろいろ趣向を凝らしてお祝いしました。

三津田支坊ご講師は、三ヶ本義幸先生。「み教えに生きる」と題してご法話。ご満座参詣者にはお斎のお接待がありました。



三津田支坊お斎（とき）

生。お話のテーマは「いのち
ながのきほんぼう
長ノ木本坊は瀧渕孝文先



長ノ木本坊草庵



宮脇篁仙さん（右）と大崎聡子さん（左）

とところ。ご満座には宮脇篁仙さん・大崎聡子さんによる尺八と箏の演奏。終了後はお抹茶のお接待がありました。会館進徳殿は椅子

式（立礼）。希望者は茅葺きの草庵で一服。最後に、蔵本通支坊は、吉川恭順先生。「面々のおんはからひなりー自立をうながす朋の声」というテーマでお話。ご満座はビンゴゲーム。皆さんのおかげで豪華賞品が揃いました。

うさぎを起こさないカメ
ビンゴの前にご法話。印象的だったのはウサギとカメの話。日本ではカメはえらい

ということになっていきます。足は遅くても努力してウサギを追いついたから。ところがインドの人にその話をする、意外なことに、「どうしてカメはウサギを起こしていつしよに行かないのか」と言ったとか。

それは競争していったからだとか、色々反論はできると思いますが、私は「起こす」なんて思いもしなかったたのでハッとさせられました。

それは、その話にかぎらず、一事が万事、私はどんな時も他人と競争、勝ち組になる教育を受け、

実際その通りに生きていて、口と心は裏腹、心の底では恥ずかしながら、



皆とともに歩いてゆこうなんて思っていないからです。

み教えの光が、闇を生きている私の姿と本音を照らしてくれました。

西教寺賞を受賞した並木蓮助くん。今年の西教寺賞は電子モーター扇風機。お兄ちゃんの中央くんも豪華ハン焼き器をゲット



「でんきを消してスローな夜を」100万人のキャンドルナイト 11年目! アロマキャンドづくり&ミニコンサート

〈100万人のキャンドルナイト 呼びかけ文〉私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。夏至・冬至、夜8時から10時の2時間、みんなでいっせいでんきを消しましょう。ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。ある人は省エネを、ある人は平和を、ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、文明のもっと大きな可能性を発見するプロセスであると私たちは考えます。一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、ただ2時間、でんきを消すことで、ゆるやかにつながって「くらやみのウェーブ」を地球上にひろげていきませんか。でんきを消して、スローな夜を。100万人のキャンドルナイト。

東広島在住のママさんシンガーしまひろさん→



しまひろさんミニコンサートの様子。



「早く早く」「あれもしなければこれもしなければ」。毎日雁字搦めの人生ですね。スピードを落とし、プラグを抜いて、夏至と冬至の夜、皆さんももうひとつの人生を体感してみませんか。

六月十四日(日)、お寺の子ども会(日曜学校)でアロマキャンドルづくりとしまひろさんミニコンサートを行いました。

お寺でお葬式

昨今お葬式はホールが増えましたが、「やっぱりお寺が好き」とお寺でのお葬式も根強い人気です。「お寺でもできるんですか」という方もいらつしやるので、時々お知らせしておこうと思います。皆さんのお寺です。ご遠慮なくどうぞ。

迷惑かけたくたくない

よく耳にする言葉です。私も死



蔵本通支坊本堂。法事と同じく少人数でもOK。堂内は百五十名まで。



蔵本通支坊地階光浄殿。

ぬまでのこと、死んだ後、迷惑かけたたくないです。それはその通りですが、立場が逆ならどうでしょう。死にゆく人が皆さんのご家族であればもちろん、ご友人、ご親戚、ご近所であつても、皆さんにとつてはそれぞれにつきあつてきた大切な人ではありませんか? 大切な人のことなら大概のことなら「迷惑ではない」のではないのでしょうか。逆に、大切な人なのに気持ち(こころ)を断られたり、知らないうちにいなくなつていたりすると、今まで何だったんだろうと悲しくなりませんか?

誓子の日記

皆さんお久しぶりです。わ

が家は、三男遊(ゆう)が中学生になりました。毎朝弁当が三人分になり、三人とも別々の時間に出発するので大変です。夜もすぐ寝てくれないので私の昼夜が逆転してしまい、子どもが学校に行つた後が私の熟睡タイムです。といつてもそういうわけにはいかず、来客や電話に朦朧(もうちよう)として対応しています。長男慧(さとし)は高三になりました。相変わらず勉強はどこへやら、真つ黒になつてクラブに熱中しています。変わったことは、父の身長を追い越したこと、それからテレビドラマの次の展開を予想できるようになつたのが自慢(じまん)です。自慢を聞いた智寧(ちねい)さん、「予想はよそう。」とオヤジギャグを炸裂(さくれつ)子供たちに冷たくあしらわれています。